

令和6年度 全国学力・学習状況調査
春日部市全体の調査結果概要（目的・概要等）

■調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■調査の概要

実施日 令和6年4月18日（木）

調査対象 1 原則として全児童生徒を対象とする。

【小学校調査】 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年

2 小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
- (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

調査事項 1 児童生徒に対する調査

(1) 教科に関する調査

①小学校〈国語、算数〉

②中学校〈国語、数学〉

(2) 質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

2 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組等に関する質問紙による調査

■春日部市の学力調査結果の概要（教科区分ごとの平均正答率）（単位%）

	学年		国語	算数・数学	英語	
R6	小6	市	69	63	/	
		県	69	64		
		国	67.7	63.4		
	中3	市	56	49		
		県	59	53		
		国	58.1	52.5		
R5	小6	市	69	61	/	
		県	68	62		
		国	67.2	62.5		
	中3	市	71	48		40
		県	71	52		46
		国	69.8	51.0		45.6

■教科に関する調査結果（小学校）

小学校 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		69
学習指導 要領の 領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8
	情報の扱い方に関する事項	85.8
	我が国の言語文化に関する事項	80.4
	話すこと・聞くこと	59.1
	書くこと	70.1
	読むこと	73.7

メモの書き表し方を説明した
ものとして、適切なものを選択す
る問題は、高い正答率である。
また、「読書を通して、自分の
心に響く言葉や今までになかつ
た考えを見つけることができ
る」という読書の意義を捉える
こともできている。

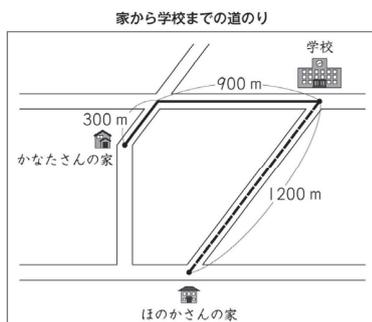
【平均正答率が最も低かった問題】

- ・漢字を使って書き直す問題。「きょうぎの作戦を考えたりします。」
- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く問題。（60字以上100字以内）

小学校 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		63
学習指導 要領の 領域等	数と計算	65.4
	図形	66.5
	変化と関係	50.8
	データの活用	61.3

数量の関係を□を用いた式
に表す問題は高い正答率であ
る。「変化と関係」では、時
間を求める問題、速さをもと
め理由を答える問題に課題が
みられる。

【平均正答率が最も低かった問題】



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。
家から学校まで、あなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。
それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、あなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。
下の **1** と **2** から選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- | | |
|----------|-------|
| 1 | あなたさん |
| 2 | ほのかさん |

【記述式問題について】

昨年度、2教科で共通して「記述式」の正答率が著しく下がるという数値がでていたが、今年度、国語においては数値が上がっている。しかし、算数では依然として課題となっており、改善に向けた取組が必要である。（式や解について自分の考えを表現する時間を設ける。・朝活動で重点的に取り組む等）

問題形式	正答率 (%)	
	国語	算数
選択式	70.8	75.5
記述式	68.7	50.1

■教科に関する調査結果（中学校）

中学校 国語		平均正答率(%)
		春日部市
全体		56
学習指導 要領の 領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	55.5
	情報の扱い方に関する事項	57.5
	我が国の言語文化に関する事項	71.4
	話すこと・聞くこと	58.7
	書くこと	62.5
	読むこと	46.6

言語文化については、概ね高い正答率である。目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることも高い正答率である。目的に応じて要約すること、文章と図とを結びつけ内容を解釈することに課題が見られる。

【平均正答率が低かった問題】

- ①本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する問題
- ②本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題

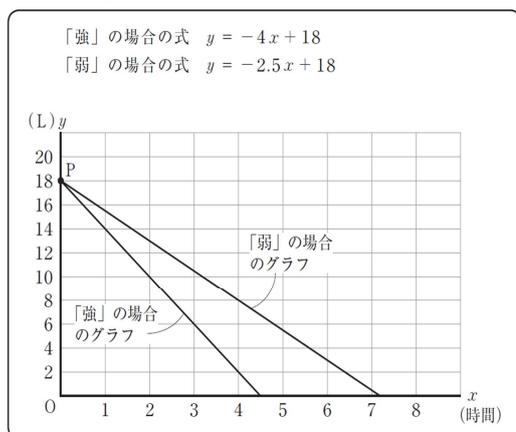
中学校 数学		平均正答率(%)
		春日部市
全体		49
学習指導 要領の 領域等	数と計算	45.8
	図形	37.7
	関数	56.9
	データの活用	52.9

正の数と負の数の加法の計算は、高い正答率である。関数においては、二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができている。しかし、数学的な表現を用いて説明する問題では、正答率が低くなっている。

【平均正答率が低かった問題】

- ①求める方法を、式やグラフを用いて説明する問題

ストーブの使用時間と灯油の残量



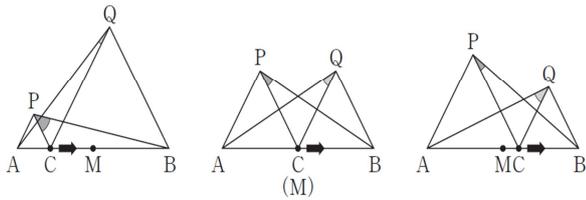
- (2) 前ページのストーブの使用時間と灯油の残量から、ストーブを使用し始めてから18 Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合の使用時間の違いがおよそ何時間になるかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何時間かを求める必要はありません。

ア 「強」の場合の式 $y = -4x + 18$ と「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$

イ 「強」の場合のグラフと「弱」の場合のグラフ

②

図3



- ◎ 点Cが点Aと中点Mの間にあるとき、
 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は 。
- ◎ 点Cが中点Mと点Bの間にあるとき、
 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は 。

上の 、 のそれぞれに当てはまるものを、下のアからエまでの中から1つずつ選びなさい。

- ア 60° より大きい
 イ 60° より小さい
 ウ 60° になる
 エ 60° より大きいことも小さいこともある

【小中学校に共通する事項（クロス集計から）】

- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した生徒ほど正答率が高い。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますかという設問に対し、「1時間以下」と回答した児童生徒ほど正答率が高い。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると回答した生徒ほど正答率が高い。

【全国平均正答率との差】

- ・小学校国語では、全国平均正答率との差が1.5ポイント広がっている。
 （令和5年度より0.3ポイント差が広がった。）
- ・小学校算数では、全国平均正答率より0.5ポイント低いですが、昨年度より0.9ポイント、差が縮まっている。
- ・中学校では、2教科とも全国平均正答率より低くなっている。
 （国語 -2.4ポイント 数学-3.7ポイント）